

# 巻頭言

## 総務委員会の活動紹介

日本油化学会 総務委員会 委員長 黒岩 崇



平成29年度から本会の総務委員長を拝命しております。総務委員会では、毎年4月の定時総会の運営や諸規則・規程類の整備のほか、関連委員会、関連小委員会を通じて代議員選挙の実施や学会ホームページの整備と管理などの庶務を行っています。オレオサイエンスの進展に直結する学術・産業関連の活動とはひと味異なり、これらの活動を運営面でサポートする「縁の下の力持ち」といった役どころが多い委員会と感じています。平成30年度は、8名（アカデミアから5名、インダストリーから3名）の委員で活動してまいります。この度は、誌面をお借りして最近の総務委員会の活動から2つのトピックスを紹介させていただきます。

### ①諸規則・規程類の整備

日本油化学会は、これまでも諸規則・規程類の適正な運用によりその活動をスムーズに行い、学術と社会の発展に貢献してきました。平成23年に公益社団法人に移行してからは、公益的な視点からさらなる社会の求めに応じた活動を展開しています。この流れの中で、本会の歴史の長さゆえに、活動上のニーズと紙上のルールとの間に若干の不都合が生じつつある部分も見受けられます。総務委員会では、諸規則・規程類の見直しを進め、学会の目的をより達成しやすいルールになるよう、継続的に検討を行っています。「ルールは公開されてこそ意味がある」という立場から、次項で紹介するホームページリニューアルとも連動して、会員用ページにおける規程類の公開に向けた検討も進めています。会員の皆様にとって、現代的かつ合理的で運用しやすいルールであるよう、引き続き、諸規則・規程類のチェックを進めてまいります。

### ②ホームページリニューアル

本会ホームページは、本誌第16巻第9号の巻頭言にて野坂直久前総務委員長よりレビューいただいておりますとおり、20年を超える歴史を有しています。近年のインターネット環境の進歩により、ホームページを介した情報発信や会員サービスへのニーズは一層高まっており、本会でも多くの会員の皆様からホームページのリニューアルを望むお声が届けられておりました。野坂前委員長からホームページリニューアルに向けた活動を引継ぎ、現在はホームページ小委員会や事務局と連携しながらリニューアル作業を進めております。ようやく基本的な構成が整い、本稿執筆時点で平成30年5月の運用開始に向け、掲載内容のチェックを急ピッチで行なっております。ホームページは学会と会員とをつなぐ窓口であるとともに、社会からみた学会の顔でもあります。会員の皆様におかれましては、新しい学会の顔にぜひとも親しみを持っていただくとともに、お気づきの点がございましたらご指摘くださいますよう、お願い申し上げます。ご次第です。

そのほか、2021年の創立70周年を見据えた運営上の諸状況の準備・調整も、関連部局の皆様と連携しながら順次進めていく必要があると考えております。また、平成30年度は、2年に1度の代議員選挙が行われるタイミングでもあります。総務委員会の活動は、会員の皆様の目に触れることは必ずしも多くなく、はっきり申し上げてしまうと地味であることは否めませんが、学会がその役割を全うする上で欠かせないものであることもまた事実です。これらの活動を通じて、微力ながら学会の発展に尽力してまいりたく存じますので、今後ともご理解とご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。

(東京都市大学工学部エネルギー化学科)